

まぼろしへのかけはし

基本理念 希望のある医療

明けましておめでとうございます

病院長 永田 正男



歴史的な温暖化で温かい日々が続くとか、急に冷え込むという異常気象の一年でしたが、皆様は如何お過ごしでしたでしょうか。エルニーニョ現象の影響もあり、竜巻が日本でも発生する事態となり、これから先、私たちの予想を超えたことが起こり得る社会になったと思えるこの頃です。しかし、これらの現象は、実は先に予想されていたが、我々には知らされていなかった事象ではなかったのではないのでしょうか。今後、起こりえる医療・介護の領域の変革を先読みし、実行していくことが重要な時に差し掛かっているように思います。

【当院の現況】

一時不在となっていた整形外科常勤医師も3名体制となり、骨折等の救急受け入れや手術が毎日のように行われるようになりました。また、脳神経外科では、パーキンソン病、書痙などの不随意運動症に対して脳深部刺激療法や神経障害性疼痛に対して脊髄刺激療法など特殊な手術が行えるようになり、気胸センターの手術数の増加もあって、外科手術を中心に、病院も活気を取り戻しつつあります。

一方で、昨年引き続き、内科医の不足を解消させることができておりません。入院診療の縮小化、内科系救急の受け入れが困難な状況が続いており、皆様にはご迷惑をおかけし申し訳なく思っています。神戸大学、岡山大学、兵庫医科大学の内科診療科教室を巡り、医師確保に鋭意努力を重ねておりますが、呼吸器内科と糖尿病内科などの非常勤の先生を確保するのが精いっぱい状況です。院内でも人材獲得特命チームを発足させ、医師確保に努力を重ねていきたいと思っておりますので、地元の方にもご協力をいただくとありがたいと思っております。

【医療・介護分野における変革と地域包括ケア病棟の立ち上げとお願い】

団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題から、地域医療構想ガイドラインが厚生労働省から立ち上げられています。一昨年から始まった病床機能報告制度も2年がたち、医療資源の投入量から、高度急性期・急性期・回復期・慢性期病床に区分し、現況の病床区分から10年後の人口ピラミッドから予想される病床区分に徐々に変換させる地域医療構想検討部会が開催されています。本年6月にも全国で2次医療圏ごとに策定されていくことになっており、当院も東播磨2次医療圏3市2町（明石市、加古川市、高砂市、播磨町、稲美町）の人口70万単位での構想に入っています。

こうしたなか、地域医療構想策定の進行とともに病院新改革プランを当院でも策定中であり、今年度中にも、評価委員会の評価を参考としながら、病院新改革プランを完成させる予定です。

超高齢社会を反映して、急性期で落ち着いた状態でリハビリテーションを中心とした亜急性期の患者さま、退院調整が困難な患者さまなど、在宅復帰に時間を要する患者さまを

受け入れる地域包括ケア病棟（回復期病床）を40床、平成28年度4月から開設の予定としております。地域の皆様で入院された患者さまには、病状が落ち着かれた時点で、地域包括ケア病棟に移動して頂くご不便をおかけするとは思いますが、在宅復帰を目的にリハビリテーションや医療・介護の環境を整える時間が取れる病棟でございますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【紹介受診のお願い】

当院では地域包括ケアシステムの実現に向け、病診連携をより深め、地域における診療所と病院の役割分担を進めるため、診療所からの紹介患者さまの外来機能を高めていくことを目指してまいります。病院の外来受診につきましては、できるだけ地域の診療所の先生方からの紹介状を持参もしくは地域連携室を通じた診療予約をして、ご来院いただきますようお願い申し上げます。

「いのちの大切さ」を講演しました

緩和ケア内科病棟課長 桜井 直美



12月15日(火)に宝殿中学校において、3年生215名と一緒に「いのち」について考える機会を持ちました。毎年看護師が伺い、『いのちの授業』と題して心の通った対話をしています。人としての尊厳や人との繋がりの大切さを共有することが出来ました。

【いのちの大切さ】

- ◇ あなたの命は、あなただけのものではありません。
- ◇ 自分を大切に、相手も尊重しましょう。
- ◇ お互いに支えあい、励ましあい、思いやる心が絆を結び、一生懸命に悩んだり実行したことに、無駄なことはひとつもありません。
- ◇ 自分を信じて、相手も信じましょう。
- ◇ きっとあなたの声に耳を傾けてくれる人がいるはずです。
- ◇ 誕生するのも死ぬのも、一度しかありません。
- ◇ いのちの尊さを重んじて、これからの人生を精一杯生きてください。

お知らせ

1月のホッとひと息寄り道講座

テーマ： **訪問看護について**
講師： はるか訪問看護ステーション 管理者 北田 晴美氏
日時： 1月13日(水)、25日(月) 10:00~10:30
場所： 正面玄関ホール 公衆電話前

きほうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981 (内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>



〈シンビジウム〉